

資料 5

地方創生推進交付金活用事業

(1) 広域公共交通でつなぐ地域の宝(人・観光・健康・仕事)1市2町連携プロジェクト事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成30年	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
1	広域連携バス (壬生町一下野市一上三川町) 利用者数	0人	3,500人	10,800人	13,400人
	年度目標値				
	実績値		4,280人	4,769人	5,310人
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	令和元年10月から実証運行を開始した広域連携バスは、令和2年10月に更なる利用促進を図るため、ゆうきが丘循環線について、より乗車が見込まれるルートへの変更や大松山運動公園に延伸する取組を行った。このほか、令和2年度にはスタンプラリーやバス絵画コンテスト等、令和3年度には総合プロモーションとして冊子・動画制作など各種利用促進事業を実施したが、新型コロナウイルスによる外出自粛等の影響もあり利用者数は伸び悩んだ。実証期間(令和4年3月まで)の利用実績から、ゆうきが丘循環線は廃線となり、獨協医大往復線は外出自粛の影響下においても比較的堅調なため、令和4年4月から関東自動車による本格運行に移行となった。今後も持続可能な地域の公共交通として地域に定着するよう支援を行う。 なお、バス運行経費に係る国の補助基準が、運賃収入・走行距離・運行回数等から積算する輸送量ベースの人数としているため、KPIの数値もこれに沿った積算値としているところで、令和3年度の実利用者数としては23,507人である。			
担当課	安全安心課				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
2	下野市観光入込客数 (1市2町観光入込客数)	2,363,209人 (6,268,343人)	2,365,209人 (6,273,443人)	2,368,209人 (6,280,643人)	2,372,209人 (6,289,943人)
	年度目標値				
	実績値		2,313,409人 (6,108,685人)	1,797,291人 (3,896,616人)	1,939,975人 (4,288,355人)
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルス感染症の影響により、前年に引き続き、市を代表する大規模イベント「天平の花まつり」「芋煮会」「燈桜会」が中止となった。また、観光客が市内で一番見込まれる道の駅しもつけにおいても時短営業を実施したことから(令和2年度は休館も実施)、市全体での観光入込客数は前年よりは回復したが、目標値には届かなかった。 今後、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたイベント等の運営方法を検討のうえ、観光客数の回復に向け取り組むこととする。			
担当課	商工観光課				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
3	下野市健康マイレージ参加者数 (1市2町健康マイレージ参加者数)	326人 (1,153人)	346人 (1,244人)	376人 (1,334人)	426人 (1,444人)
	年度目標値				
	実績値		424人 (1,279人)	436人 (1,181人)	571人 (1,425人)
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	令和2年度はコロナウイルス感染拡大防止により健診を中止した日程があったため、受診機会を逃した方のために、令和3年度は集団検診の実施日程を増やした。そのため、健診受診者が実質増えたこと、また健康チャレンジのみのため健康づくりのきっかけとして取り組みやすくしたことで参加者が増えたと考えられる。 マイレージ事業をきっかけに健康づくりを継続している方も多いため、今後も健康マイレージの参加をきっかけとして、より良い健康づくりの取り組みを充実させていきたい。令和4年度からは、初めて参加する方や健康に関する事業へ参加した方に健康グッズをプレゼントする取り組みを開始する。今後も事業の周知や記念品等の検討を行い、参加者の増加につなげていく。			
担当課	健康増進課				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
4	下野市東京圏からの転入者数 (1市2町の東京圏からの転入者数)	450人 (870人)	460人 (900人)	470人 (930人)	480人 (960人)
	年度目標値				
	実績値		457人 (931人)	476人 (866人)	462人 (923人)
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	令和2年度より、第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略で「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」を基本目標に、快適に住み続けられる環境づくりを進めてきた。令和3年度から、東京圏からの「転職なき移住」を推進するためテレワーク移住促進補助金を、令和4年度から、移住希望者が本市での暮らし体験や住まい探しのため、滞在した期間に要した宿泊費を補助する移住希望者宿泊費補助金を新設した。 本市では令和3年度の東京圏からの転入者数が令和2年度より14名減少したが、移住相談件数は前年度より増化傾向にある。今後は移住支援制度の周知を図るとともに東京圏でのPRをより積極的に行っていきたい。			
担当課	総合政策課				

地方創生推進交付金活用事業

(2) 6次産業化施設ゆうがおパークの活性化事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成30年	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
1	ゆうがおパーク売上高	88,000千円	91,000千円	97,000千円	110,000千円
	実績値		96,972千円	113,467千円	131,378千円
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>中小企業診断士に年間を通じた経営診断を委託したことにより、経営に対する課題が明確化され経営改善に向けた提言が示された。 このような中、独自に経営改善すべき点を見定め対応したことにより令和3年において、最終目標値を達成することが出来た。 今後も提言を踏まえ経営改善すべき項目ごとにPDCAサイクルを定め積極的に売上高の向上に努める。</p>			
	担当課	農政課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
2	ゆうがおパーク来客数	100,000人	105,000人	110,000人	120,000人
	実績値		108,418人	116,763人	134,487人
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>売上高同様、中小企業診断士に年間を通じた経営診断を委託したことにより、来客数増加に対する課題が明確化され、集客に向けた提言が示された。 このような中、独自に集客を図るためのイベント等を企画、実施したことなどにより令和3年度の目標値を達成することが出来た。 今後も提言を踏まえ改善すべき項目ごとにPDCAサイクルを定め来客数増加に努める。</p>			
	担当課	農政課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
3	収穫体験等の体験活動参加人数	3,000人	3,200人	3,500人	4,000人
	実績値		3,322人	1,278人	5,230人
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>令和元年度においては、田植、稲刈り、野菜の種まき・収穫、餅つき体験、収穫感謝祭など幅広い世代が参加できる農業体験、イベントを実施することにより、都市住民・地域住民との交流を図るとともに、リピーターになってもらうような工夫を行い来客数の増加に繋げてきた。 しかし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、農業体験やイベント等を自粛したことにより、目標値を大幅に下回る結果となった。 また、令和3年度においては、コロナウイルスワクチンの普及や感染症対策がとられたイベント等の実施について規制緩和が行われたこともあり、意欲的にイベント等を実施した結果、目標値を達成することができた。 今後も新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら新たな農業体験・イベントを実施することにより来客数の増加を目指す。</p>			
	担当課	農政課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
4	6次産業化商品等販売額 (一般加工品含む)	10,000千円	10,300千円	10,800千円	11,800千円
	実績値		11,837千円	11,734千円	17,480千円
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>かんぴょうをはじめとした地元特産品や農産物を活用した弁当、総菜や加工品を製造販売し6次産業化を積極的に推進してきた。 その結果、令和3年度の目標値を達成することができた。 今後、経営診断で提言された新たな「店の顔」となる商品開発及び既存商品の更なる品質向上をおこなう上で消費者ニーズ・消費者視線に立って取組むことにより、ブランド化・高付加価値を図り販売額の増加に繋げる。</p>			
	担当課	農政課			

地方創生推進交付金活用事業

(3) 下野市を知ればもっと好きになる！交流・関係・定住人口好循環拡大プロジェクト

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
1	転入超過人口	-106人	0人	10人	20人
	実績値		40人	244人	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	令和2年度住民基本台帳年報によると転入者数は2,366人、転出者数2,122人であり転入超過数244人であった。転入者数は区画整理事業地内の人口増加に加えて、石橋地区、国分寺地区の宅地分譲が増えたこと、転出者数はコロナ禍により東京圏への転出が前年度から126人減少したことが、転入超過となった要因として考えられる。今後は、市民満足度を高めることで転出者を抑えるとともに、移住支援制度の充実を図り、東京圏からの転入者を増やす。また、引き続き地域の住民を巻き込みながら関係人口創出事業に取り組み、移住、定住者の増加を目指す。			
	担当課	総合政策課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
2	アニメファンクラブ会員数及びSNSを活用した情報発信サポーター数の合算	0人	100人	150人	50人
	実績値		110人	153人	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	これまでサブカルチャーである市内ゆかりの伝説をモチーフにしたご当地アニメ「サクラノチカイ」を活用したPR事業に取り組んできた。この事業を継続していくため令和2年3月にファンクラブを創設した。令和3年度までの延会員数は94名であった。 市内外への情報発信ツールとしてSNSを活用しており、Instagramやfacebookで下野市の情報を発信したサポーター数は59名であった。 引き続き、様々な分野で下野市の魅力を伝え、関係人口の創出を図っていく。			
	担当課	総合政策課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
3	関係人口事業関連イベントへの参加者数	0人	50人	60人	70人
	実績値		90人	78人	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	ご当地アニメ「サクラノチカイ」ファンクラブ会員の交流を目的に会員限定の座談会をオンライン上で実施。全3回実施し、延べ28名が参加。下野市をテーマにしたトークなどや意見交換を行った。 また、「副業」をテーマとしたオンラインでイベントを実施し、19名が参加。下野市のひと・もの・ことを体験するモニターツアーを実施し、5名が参加。「地域×若者」をテーマにトークイベントを実施し、23名が参加。市内事業者と協力し、インターンの受け入れを実施し3名が参加。 コロナ禍でオンラインでの事業が多かったが、リアルで開催できるように計画していく。			
	担当課	総合政策課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
4	観光入込客数	2,310,000人	2,360,000人	2,410,000人	2,460,000人
	実績値		1,797,291人	1,939,975人	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルス感染症の影響により、前年に引き続き、市を代表する大規模イベント「天平の花まつり」「芋煮会」「燈桜会」が中止となった。また、観光客が市内で一番見込まれる道の駅しもつけにおいても時短営業を実施したことから（令和2年度は休館も実施）、市全体での観光入込客数は前年よりは回復したが、目標値には届かなかった。 今後、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたイベント等の運営方法を検討のうえ、観光客数の回復に向け取り組むこととする。			
	担当課	商工観光課			